

ペットボトルで養液栽培 よくばり知識

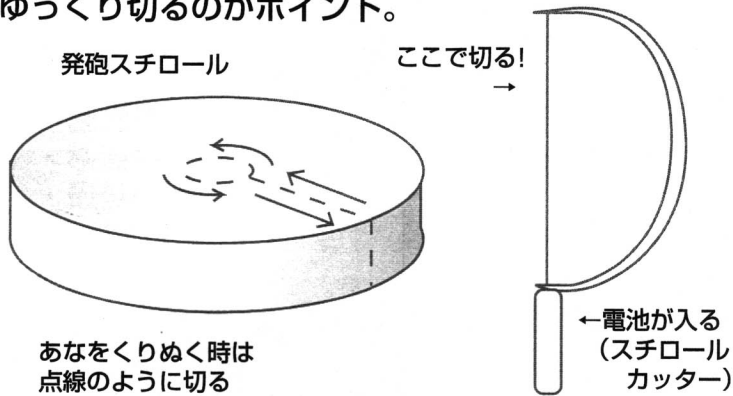
■材料あれこれ

ペットボトルは、1リットル以上のものを使いやすい。発泡スチロールは、厚さ2cmくらいのもので、捨てるようなものを活用しよう。スポンジは、あまり大きなものは必要ないので、台所で使うものなどを活用しよう。ラッカースプレーは、ペットボトルの中に光が当たらないよう、外がわに色をぬるのに使う。銀色がいいよ。ホームセンターなどで買おう。

■スチロールカッター

ペットボトル、発泡スチロールを切るには、少し大きいカッターや小刀でもいいけど、切った所が鋭くなってケガをしやすいため、熱の力で切る「スチロールカッター」を使うとよい。

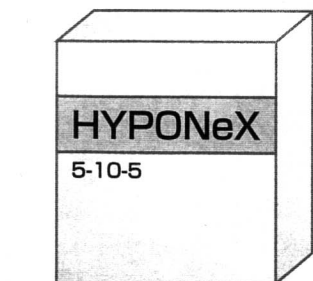
スチロールカッターは、ホームセンターなどで売っている（1,000円ぐらい）。練習してから、ゆっくり切るのがポイント。



■「ハイポネックス」って、なんだ？

どんな植物だって、食べ物は必要。植物の食べ物が「肥料」だ。「ハイポネックス」は、うすめて使う液体の肥料。園芸店で売っているよ。水1リットルにハイポネックス1ccを溶かして使う。

計量カップつき



箱入りもある
(こなタイプ)



ボトル入り

■なにをまこうか・・・

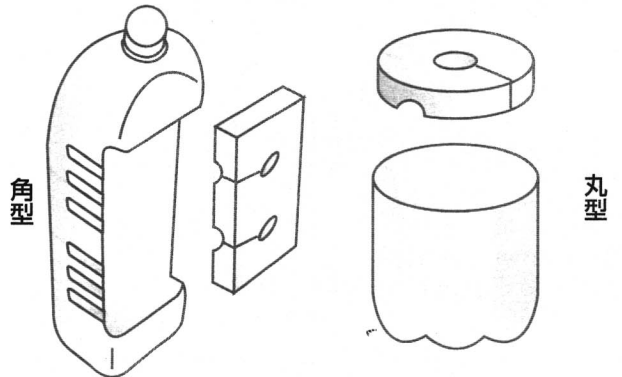
スーパーで、スポンジがついた「水耕ミツバ」を買ってきて、スポンジの上5cmくらいで切ったものが、そのまま使えて便利。タネをまくなら、チンゲンサイや葉ネギなどがよい。

■ペットボトルで容器を作る

まず、ラッカースプレーで、ペットボトルに、塗料をまんべんなく吹きつける。吹きつけは家の外でやること。完全に乾いたら、丸形のものは半分に切って、ふたのあるほうは針金で壁にかけて、底のほうは立てて使える（苗1本うえ用）、角型は寝かせて使う（苗2本用）。キャップは必要。

■発泡スチロールの工作

発泡スチロールは、まず、ペットボトルにあけたあなからちょうど入れられる大きさに切る。それから苗を植える（スポンジをとりつける）所と、空気あなをあける。



■養液の準備・うえつけ

うすめたハイポネックス（養液）を、容器の3分の2くらい注ぎこむ。これに発泡スチロールを浮かべてみよう。養液といっしょに発泡スチロールが動くかな。きつい場合は発泡スチロールを少しずつけずろう（根が、いつも養液にひたっているようにするため）。

スポンジをはめる時は、あまりきつくないように、スポンジの量を調節すること（クキが太くなってくるときつくなる）。また、スポンジが養液を吸うことができるように、養液にひたる方を、ちょっとはみ出させておく。根のほうは養液にひたるように浮かべて、できあがり！

